



～サポート室便り～

サポート室の取り組み・耳寄り情報などをお伝えします

図書とDVD貸出について

サポート室では、男女共同参画等に関する書籍と、これまで開催したシンポジウムやセミナーのDVDを用意しています。

本学の教職員および学生に貸出ししていますので、ご興味等ある方はサポート室へお問い合わせください。

書籍・DVD名については、サポート室のホームページからご確認できます。

貸出しを希望される方は、サポート室にお越しいただくか、メールあるいは電話にて希望の書籍・DVD名および学内便送付先をお知らせいただければ学内便にてお届けいたします。

また、希望する書籍(男女共同参画に関連するもの)等があれば、要望をサポート室までお知らせください。購入を検討したいと思います。

お知らせとお願い

●平成25年度の研究サポーター事業と女性研究者学会派遣支援事業については、詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。

●現在配付しております研究者の意識調査アンケートへのご協力をお願いいたします。アンケートの結果については、まとも次ホームページ等で報告いたします。

●平成25年度開室予定であります、病児保育室に関するアンケート調査を、昨年10月に挾間キャンパスにて実施いたしました。その結果について、報告書を作成いたしました。サポート室のホームページよりご覧いただけます。報告書が必要な方は、サポート室までお問い合わせください。



大分大学の教職員の方に登場していただき、女性研究者支援について、ご自身の事、これまでに経験してきたことなどをお話していただくコーナーです。

今回ご登場していただくのは……

医学部 准教授 脇 幸子さん

『 私の元気の源 』

私は、今の自分が一番好きである(ナルシストではないです)。もし、生まれ変わるとしたならば、また私でいたいと思う。一人では決して、創ることのできない、私らしさであるからだ。子どもたちが小学生の時、“父”と“母である私”に、偶然にも同じようなメッセージをくれた。「いつもありがとう。お仕事がんばってね」・私の人生を認めてくれていると感謝した。悲しいことも、辛いことも、苦しいことも、楽しいことも、嬉しいことも、患者さんや家族、友人、同僚、上司、学生、出会った人との中で、結局、全てが私の元気の源になっている。教育も研究も、子育ても介護も、単なる仕事や役割ではなく、私が生きている証のように思う。だから、子育てと仕事のどちらかを選ぶことはできずに、たくさんのエネルギーをもらって私は生かされている。だから私も、私の力になってくれる人たちのために永い時間をかけて、私を創り、何かを生み出そうとがいている。“生きることを学ぶ”ことが看護の本質と考える。だから私は看護の探究がおもしろい。知ることを学ぶ、為すことを学ぶ、共に生きることを学ぶ、人間として生きることを学ぶ、生涯学習に秘められた宝を探し続けたい。

